

【考え・基礎知識】
コミュニティデザインに関する内容を読み取る。

【つながり】
読み取った内容と身近な生活を結びつけて考える。

【応用・ひろがり】
自分の考えた町づくりについて発信する。

- ◇ 学 年 第6学年
- ◇ 単元名 「〇〇のわ」！〇〇市編！自分たちの考える町作りについて提案しよう！
使用教材「町の幸福論-コミュニティデザインを考える」
- ◇ 単元の目標 町作りの考え方を学ぶという目的をもって教材文を読み、筆者の述べている町作りに関する考え方とその具体例をとらえるとともに、町作りに関する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
町作りに関する情報を集め、関連付けてとらえるとともに、提案内容が明確に伝わるようにプレゼンテーションの構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。
- ◇ 単元の計画（全13時間）

学習活動	時数	指導上の留意点
<p>課題の設定（1）</p> <p>○町作りの提案に対して関心をもつ。 ・町作りのイベントを企画した市役所の方や参加した人々の思いを知り、そこに住む人や他の地域からやってきた人たちが幸せな気持ちになれる町作りに対する興味をもつ。 ・「〇〇のわ～〇〇（地域名）編」と題し、自分たちが考えた町作りについてプレゼンテーションし、提案するという学習計画を立てる。</p>	1	<p>★道徳の時間と関連させ、町おこしに奔走した方の話を取り上げておいたり、小学生が町作りに参画し、様々な実績を上げている事例を紹介したりすることで児童の意欲を高める。</p>
<p>情報の収集1（5）</p> <p>○町作りの考え方を学ぶという目的をもって教材文「町の幸福論-コミュニティデザインを考える」を読む。 ・教材文で筆者が述べていることを文章の構成にそって整理し、町作りの考え方を学ぶ上で参考になりそうなことを出し合う。 ・町作りの考え方を学ぶという目的意識をもって、「コミュニティデザイン」の考え方を学ぶ。 ・「コミュニティデザイン」の具体例を読み、内容を整理するとともに、同じような事例が自分たちの周りにもないかを考える。 ・「バックキャスト」の考え方と具体例を読み、内容を整理するとともに、「バックキャスト」の方法を使って町作りについて考える。 ・筆者の伝えたいことをとらえるとともに、教材文を読んで町作りに関して考えたことを交流する。</p>	1 1 1 1 1 1	<p>○教材文に書かれている内容をおおまかにとらえさせるとともに、町作りの考え方を学ぶ上で参考になりそうな点について話し合わせることで、詳しく読む内容を絞り込ませる。</p> <p>○筆者が論を説明するために、どのような具体例を挙げて説明しているのかをとらえさせるとともに、同様の身近な事例について挙げさせ、自分達の生活とつなげさせる。</p>
<p>情報の収集2（3）</p> <p>○「〇〇のわ～〇〇（地域名）編」のプレゼンテーションの準備を行う。 ・プレゼンテーションの具体例から、プレゼンテーションをする時の工夫について話し合う。 ・自分たちの提案したいテーマを設定する。 ・自分たちの提案したいテーマに関する取組の事例を集める。</p>	1 1 1	<p>★付けたい力を明確にし、それに応じたプレゼンテーションの具体を教師自らが作成、実演することが大切である。それにより児童に学習のゴールの姿を明確にもたせることができる。</p>
<p>整理・分析（3）</p> <p>・集めた情報を整理するとともに、プレゼンテーションの構成を考える。 ・プレゼンテーションの資料を作成する。 ・プレゼンテーションの練習を行う。</p>	1 1 1	<p>○町の課題や、地域の人々の願いのわかる資料を集め、それらを関連付けながらテーマを設定させる。</p> <p>○話すスピード、声量、間の取り方、抑揚などについて助言する。</p>
<p>まとめ・創造・表現（1）</p> <p>○「〇〇のわ～〇〇（地域名）編」のプレゼンテーションを行う ・発表会を行い、作成したプレゼンテーションを行うとともに意見交流をする。</p>	1	<p>★発表会に関係する機関の方々を招くことで目的・相手意識を高める。</p>

町作りに関する図書
の並行読書を行う